

九 山東省及赤道以北太平洋独逸領諸島ノ戦後処分ニ関スル交渉一件 六九五
ノ件

第二三八号

山東及独逸南洋諸島戦後処分方ニ関シ伊国トノ交渉ハ本件
英仏露ト交渉ノ次第ヲ同政府ニ通報スルニ止ムルコトニ決
定シ伊集院大使ヘ電訓済右貴官御含マテ電報ス

六九五 三月二十八日

在伊国伊集院大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

山東及南洋諸島問題ニ関シ三国トノ交渉成立

通報ノ覚書ヲ伊国外相ニ手交済ノ件

第三八号(極秘)

(三月二十九日接受)

貴電第七号山東及独逸南洋戦後処分方ニ関シ三月二十八日
外務大臣ニ面会シ一応ノ説明ヲ加ヘ貴電第八号ノ覚書ヲ極
秘トシテ手交セル処同大臣ハ右覚書ヲ一読セル後伊国トシ
テハ本件ニ関シ何等異議ナキ旨ヲ語り尚ホ本件三国トノ交

六六八

渉ハ一ヶ月程以前ニアリシ事ナラスヤトノ質問アリタルニ
付本使ハ英国トノ交渉ハ約一ヶ月以前ニアリシモ仏露国ト
ノ交渉ハ夫レヨリ余程遅レ居リタル様記憶スル旨答ヘタル
ニ如何ニモ英国トノ交渉成立後他ノ兩國ト交渉ヲ進メラレ
タルモノナリト云ヘリ其語氣ヨリ察スルニ本件交渉成立ハ
先方ニ於テ既ニ承知シ居リタルヤニ思ハル
在欧米各大使ヘ転電セリ

事項一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件

六九六 二月二十七日

本野外務大臣ヨリ
在中国芳沢臨時代理公使宛(電報)

山東通信問題ニ関シ其後ノ成行問合ノ件

第一六二号

客年十月五日付政機密送第一七二号山東通信問題ニ関シ其
後ノ成行大要電報アリタシ

註 日本外交文書大正五年第三冊四一七文書

六九七 二月二十八日

在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

山東通信問題ニ関シ近ク交通部ヨリ対案提示

ノ答ナル旨回報ノ件

第二三九号

貴電第一六二号ニ関シ昨年来絶エズ交通部ニ督促ヲ加ヘタ
ルモ部員異動其ノ他交通部内部ノ関係古長鉄道問題山東津
浦鉄道連結問題等ノタメ本件会議意外ニ遷延シ居リタルガ
最近國務總理及交通部ニ嚴談ノ結果愈々数日内ニ支那側ヨ
リ対案ヲ提出シ来ル筈(奉天經由二月二十八日辰三、四〇)

一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 六九六 六九七 六九八

六六九

六九八 三月五日

在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

山東通信業務ニ関スル中国側修正案送付ノ件

附屬書 交通部委員第三次提出ノ修正草案

機密第七六号

(三月十日接受)

大正六年三月五日

在支那

臨時代理公使 芳沢 謙吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

山東通信業務ニ関スル件

本月三日交通部ニ於テ山東通信業務ニ関スル第六回會議開
催支那側ヨリ別紙写之通り修正案提出致候ニ付右不取敢及
送付候也

追テ會議之経過ハ別ニ報告可致候間為念申添候也

(附屬書)

別紙写

交通部委員第三次提出ノ修正草案

交通部委員第三次提出修正草案（六年三月三日）

現属日本国管理之膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有關於中日兩國郵便及電信事務之処理弁法

第一条 日本国承認中国在青島之郵務局及電報局各一所照旧開設營業

第二条 中国承認日本国繼續在濟南商埠及濰縣之膠濟車站開設郵便局各一所

第三条 中国允諾在左開各処延長中国電報局電綫与膠濟鐵路電綫連結濟南商埠 周村 博山 濰縣 青州 膠州 城陽 青島

日本国希望先在濟南商埠实行接綫是以中国允由該処中国電報局自行延長電綫到膠濟鐵路地界以便連結

第四条 日本国允俟膠濟鐵路軍隊撤退後即將鐵路沿綫之軍事郵便局及濟南軍事無線電台以及他項因軍事而設之通信機關一律廢止並允自濟南商埠濰縣日本郵便局及青島中国電報局開始之日起從前日本国在山東所有各項軍事通信機關現尚存留者不再收發普通郵便及国外電報

第五条 日本国允諾中国在膠州湾租借地及膠濟鐵路沿綫之各処通信機關由中国自行修理復旧營業

第四条 日本国ハ膠濟鐵道軍隊ノ撤退後ヲ俟テ直チニ鐵道沿線ノ軍事郵便局及濟南軍事無線電信及其他軍事ノ為メニ設ケタル通信機關ヲ一切廢止スルコトヲ承諾ス並ニ濟南商埠地及濰縣ノ日本郵便局及青島支那電報局ノ開始ノ日ヨリ從前山東ニ於ケル日本ノ各種ノ軍事通信機關ニシテ今尚ホ存留スル者ハ再び普通郵便及外国電報ヲ收受發送セシメザルコトヲ承諾ス

第五条 日本国ハ膠州湾租借地及膠濟鐵道沿線各地ニ於ケル支那ノ通信機關ヲ支那自ラ修理シテ旧ニ復シ營業スルコトヲ承諾ス

第六条 膠州湾租借地及膠濟鐵道間ニ於ケル日支兩國郵便事務ノ交換設備及膠濟鐵道ノ支那郵便運送及鐵道電報ノ連絡料金收入ニ関スル一切ノ事項ハ暫ク支那ト独国ト從前定メタル取扱法ヲ適用ス

六九九 三月十八日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

交通部第三次修正案ノ不都合ヲ指摘ノ結果更

ニ先方ヨリ提出セラレタル第四次修正案ニ関

シ請訓ノ件

第六条 關於膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有中日兩國郵便事務之交換設備及膠濟鐵路運送中国郵便以及鐵路電報聯絡收費一切事項均暫適用中国与德國從前已有之弁法

（右和訳文）（註 外務本省ニ於テ作成シタル仮訳文ナリ）

交通部委員第三次提出ノ修正草案（六年三月三日）

現ニ日本ノ管理ニ属スル膠州湾租借地及膠濟鐵道間ニ於ケル日支兩國郵便及電信事務ニ関スル処理法

第一条 日本国ハ青島ニ於ケル支那郵便局及電報局各一箇処カ旧ノ通り開設營業スルコトヲ承認ス

第二条 支那ハ日本国カ繼續シテ濟南商埠地及濰縣ノ膠濟鐵道停車場ニ於テ郵便局各一箇処ヲ開設スルコトヲ承認ス

第三条 支那ハ左記ノ各地ニ於テ支那電報局ノ電線ヲ延長シテ膠濟鐵道ノ電線ト連結スルコトヲ承諾ス

濟南商埠地 周村 博山 濰縣 青州 膠州 城陽 青島
日本国ハ先ヅ濟南商埠地ニ於テ電線ノ接続ヲ实行スルコトヲ希望スルヲ以テ支那ハ該地ノ支那電報局自ラ膠濟鐵道境界ニテ電線ヲ延長シ以テ連結ニ便ニスルコトヲ承諾ス

別電 同日林公使發本野外務大臣宛電報第三七九号

右第四次修正案ニ関シ意見上申ノ件

附記 大正五年八月十五日附日本側修正案

第三七七号 至急 （三月十九日接受）

機密第七六号拙信ニ関シ三月三日支那側ヨリ提出セル修正案ハ第四条ニ軍事通信機關ノ廢止及右通信機關ニ依ル普通郵便及外国電報取扱廢止方ヲ規定セルノミナラズ第二条ニ我郵便局開設地ヲ停車場ト限定シ又我提案タル郵便切手ニ関スル規定ヲ削除シ第六条モ我方ノ希望ニ添ハズ大体ニ於テ逆戻リノ姿ニテ甚タ不都合ト認メタルニ付当日會議ノ席上我委員ヨリ支那側委員ヲ詰責シテ再考ヲ求メ熟考幾回トナク嚴談ノ結果十七日夜先方ヨリ別電（甲）第三七八号ノ如キ四ケ条ヨリ成ル第四次修正案ヲ内送シ来リ右ニ基キ十九日第七回會議ヲ開ク答ナリ該修正案ニハ本交渉ノ難關タル軍事通信機關ニ関スル規定尽ク削除シアリ乃チ我從來ノ主張辛ニ貫徹ヲ見タル次第故我方ニ於テモ互讓ノ精神ヲ以テ該修正案標題及第一条乃至第三条ヲ其ノ儘承認シ第四条ヲ我方ヨリ昨年八月十五日ニ提出セル修正案第七条（但シ通信事務ヲ日支兩國郵便電信事務ト改ムルコト）若ハ万已

ムヲ得ザレハ支那側第三次修正案第六条ノ通ニ改メ本國政府ノ承認ヲ条件トシテ兩委員間ニ調印ヲ了セシメタシ本交渉ハ此ノ辺ニテ解決ヲ計ラザルトキハ政局ノ變転極マリナキ支那ノコト故何時交通總長其ノ他部員ノ交迭等ヨリ再ヒ逆戻リトナルヤモ計リ難キニ付委細別電(乙)第三七九号御参照ノ上來ル二十三日迄(權量ハ二十七日本邦ニ向ケ出発ノ筈)ニ何分ノ義御電訓ヲ請フ十九日會議ノ結果ハ急速電報スヘシ(奉天經由三月十九日前、四五)

註1 別電(甲)第三七八号省略ス後出七〇一文書參看

2 大正五年八月十五日附日本側修正案ハ之ヲ本文書ノ附記トシテ別電ノ後ニ掲載セリ尚該修正案ハ同年八月十七日交通部ニ於テ開催セラレタル第五回會議ニ於テ討議セラレタリ

(別電)

三月十八日在中国林公使發本野外務大臣宛電報第三七九号

交通部第四次修正案ニ関シ意見上申ノ件

別電(乙)第三七九号 至急

支那側第四次修正案ニ関スル卑見左ノ通

(一)標題我修正案(八月十五日提出)ニハ御訓令ニ從ヒ通信事務トナシタルモ支那側ヨリハ是非郵便及電信事務トナシ

声明要求ヲ提出セザルハ非常ナル讓歩ト謂ハザルベカラズ尤右ハ支那側ニ於テ軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便ノ取扱及右交換並ニ日本經由青島發著外國電報ノ取扱ヲ承認シタル次第ニアラザルハ勿論ナリ從テ軍事郵便局取扱公衆郵便ノ交換ハ我方ニテ何等カノ方法ヲ工夫シ今回ノ取極ニ依リ承認セラルヘキ我普通郵便局ヲ經テ行ノ外ナカルヘシ

(二)支那通信機關ノ修理復旧ニ関スル規定ヲ削除セルハ支那側ニ於テ我方之ニ異存ナキヲ確信シ居ルカ為メナルベシ

(三)郵便切手ニ関スル規程ヲ削除セルハ支那側第四次修正案第四条ニ依リ当然ナリトノ解釈ニ依ル次第ニテ現ニ第六回會議ノ際支那委員ハ實際上我提案通り実行スヘキコトヲ言明セリ

(四)上海青島芝罘間海底電線ノ件ハ支那側ニ於テ絶對ニ不同意ナリ右ハ外國電信会社等ノ關係モアル次第故我目的ヲ達シ得ヘキ見込ナシ尤モ今一応第七回會議ノ際御訓令通り我公文取極案ニ對シ支那側ヨリ本件繼承ハ他ノ諸問題ト共ニ当然山東條約ニ依リ律セラルベキモノナルニ付今回ノ取極ヨリ除外スルコトナシタシトノ回答ヲ取付クル様尽力スベシ尚ホ支那側ニテ右ノ方法ニモ不同意ナル場合ニハ本件

タキ旨第六回會議ニ於テ熱心ニ主張シ我方ヨリ懇々説得シタルニ拘ハラズ第四次修正案ニ於テ依然訂正ヲ加ヘズ右ハ我原案ニモ郵便電信トアルニ顧ミ支那側希望通讓歩シ然ルベシ

(一)第一条ハ字句ノ變更ニ過キザルヲ以テ同意然ルベシ

(二)第二条ニ停車場ナル限定的字句ヲ加ヘタルハ不満足ナルモ右ハ第六回會議ニ於テ御訓令ノ趣旨ニ從ヒ論弁シタルニ拘ハラズ支那側ニ於テ其ノ主張ヲ固執シタル次第ナリ然ル

ニ我方ニ於テハ濟南停車場内ニ郵便局設置ノ計畫ヲ定メタル事實ニ顧ミ飽迄論争スル程ノ価値モナカルベキニ付之レ又同意然ルベシ

(四)第三条ハ第一条同断

(四)第四条ハ範圍狹キニ失シ其ノ儘承認スルコト不得策ト認メ往電第三七七号通修正セシムル必要アリ本条ニ関連シ出來得ル限り多クノ書類ヲ公文ニテ提出セシムル様尽力スベキモ已ムヲ得ザル場合ニハ差向キ今回明示セル三契約丈ノ提示ニテ折合フコトニ致シタシ

(六)支那側ニ於テ始終強硬ニ主張セル軍事通信機關ニ関スル規定ヲ今回全然削除シ且軍事郵便局取扱公衆郵便物不交換

ハ断念スル外ナカルベシ

(七)以上諸点中陸軍通信兩省ニ於テ尚ホ不満足ノ廉アルベシトハ存スルモ愈通信連絡実行ノ上我當局ノ手腕次第ニテ實際上追々我ニ便利ナル方法ヲ講スルコト不可能ナラザルベキニ付大局ニ着眼シ大抵ノ処ニテ速ニ纏リヲ付クルコト得策ナルベシト存ズ(奉天經由三月十九日前八、五〇)

(附記)

八月十五日提出ノ日本側修正案

現ニ日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル通信事務ニ関スル取極

第一条 日本國ハ支那國カ青島ニ於テ一ノ郵便局及電信局ヲ開設スルコトヲ承認ス

第二条 支那國ハ日本國カ濟南及濰縣ニ於テ一ノ郵便局ヲ開設スルコトヲ承認ス

第三条 支那國ハ左記各地ニ於テ支那國電信局ヨリ電信線ヲ延長シ山東鐵道電信線ト連結セシムルコトヲ承諾ス

濟南 周村 博山 濰縣

青州 膠州 城陽 青島

(日本國ハ先ツ濟南ニ於テ右連結ヲ実行シタキ希望ナルニ

付支那国ハ在同地支那国電信局ヨリ山東鐵道用地境界迄自ラ其電信線ヲ延長シ連結ニ便ナラシムヘキコトヲ公文ニテ約スルコト)

第四条 日本国ハ濟南及濰縣ニ於テ郵便局開設ノ日ヨリ右兩地ニ在ル軍事郵便局ニ於テ通常郵便物ノ取扱ヲ廃止スルコトヲ承諾ス

第五条 日本国ハ支那国カ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル支那国ノ通信機關ヲ自ラ修理シ之ヲ復旧セシムルコトヲ承諾ス

第六条 支那国ハ膠州灣租借地及山東鐵道沿線其他支那国各地ニ在ル日本国郵便局發支那国各地宛日本郵便物ニ対シ日本国ノ内国郵便料金率ニ從ヒ貼付シタル日本郵便切手ヲ有効ト認メ又日本国ハ支那国各地發青島宛支那郵便物ニ対シ支那国ノ内国郵便料金率ニ從ヒ貼付シタル支那郵便切手ヲ有効ト認ムルモノトス

第七条 膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル通信事務ニ関スル一切ノ事項ニ付テハ從前支那国ト独逸政府又ハ會社トノ間ニ取極メタル弁法ヲ準用スルモノトス

(支那側ヨリ公文ヲ以テ右弁法ヲ日本側ニ開示スルコト)

公文取極案

資定章貼用信票均為有効又日本国承認由中国各地郵政局發寄青島之郵件按照中国内地郵資定章貼用信票均為有効
第七条 所有膠州灣租借地及膠濟鐵路沿線関于中日兩國通信事務一切事項均適用中国与德国政府或公司從前已有之弁法

(由中国当局將前開弁法備文知会日本当局)

公文草案

中国政府承認日本国政府接收由上海至青島及由青島至芝罘之水綫隨時應需可以復旧運用

七〇〇 三月二十日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

第七回會議ノ經過報告及請訓ノ件

別電 同日林公使發本野外務大臣宛電報第三八七号
右第七回會議ノ經過報告ノ件

第三八六号 至急

往電第三七七号ニ関シ第七回會議ノ經過別電第三八七号ノ通ナル処今回は迄問題トナラザリシ郵便切手相互承認ノ件ニ付意外ノ故障ヲ見ルニ至リタルハ甚タ遺憾トスル所ナリ右ハ支那側ニ於テ日支郵便約定ノ關係上相互承認ノ範圍ヲ

支那国ハ日本国カ上海青島及青島芝罘間ノ海底電線ヲ繼承シ何時ニテモ必要ニ応シ之ヲ復旧運用スルコトヲ承認ス

(右漢訳文)

現属日本国管理之膠州灣租借地及膠濟鐵路沿線所有關於中日兩國通信事務之弁法

第一条 日本国承認中国在青島開設郵政局及電報局各一所

第二条 中国承認日本国在濟南及濰縣開設郵便局各一所

第三条 中国允諾在左開各處延長中国電報局電綫与膠濟鐵路電綫連結

濟南 周村 博山 濰縣
青州 膠州 城陽 青島

(日本国希望先在濟南實行接綫是以中国由該處中国電報局自行延長電綫到膠濟鐵路地界以便連結等由備文約明)

第四条 日本国允諾自濟南濰縣日本郵便局開始之日起在前開兩地日本国軍事郵便局停止收發普通郵便

第五条 日本国允諾中国在膠州灣租借地及膠濟鐵路沿線之各處通信機關由中国自行修理復旧

第六条 中国承認由膠州灣租借地及膠濟鐵路沿線其余中国各地之日本郵便局發寄中国各地之郵件按照日本国内地郵

限局セントノ底意ニ出デタルモノト認ム然ルニ本件ハ此際急ニ解決ノ見込ナキニ付支那側ニテ第四次修正案第四条ヲ我修正案第六条ノ通訂正ヲ承認スルニ於テハ之ヲ後日ノ商議ニ譲リ然ルヘント存ス本問題ハ兎ニ角此ノ機會ヲ逸スレハ又復延引スル虞アルニ付往電第三七七号ニ対シ至急電訓ヲ請フ

(別電)

三月二十日在中国林公使發本野外務大臣宛電報第三八七号
山東通信業務ニ関スル第七回會議ノ經過報告ノ件

第三八七号 至急 (三月二十一日接受)

十九日第七回會議ヲ開キ支那側第四次修正案ニ基キ討議ヲ為シタル結果左ノ通

標題ノ郵便電信事務ヲ通信事務ト為スコトニ付テ我方ヨリ重ネテ主張シタルモ先方ニテハ通信ナル用語ハ支那ニテハ余リ用ヒザル理由ヲ以テ反對セリ第二条ニ付テ我方ヨリ停車場ナル文字ヲ鐵道用地ト訂正方主張シタルニ先方ニテハ商埠内ニモ鐵道用地アルコトヲ指摘シ是非停車場ト為シタク停車場構内ナレハ如何ナル地点ニ開設スルモ異存ナシト言明シ是又讓歩セズ第四条ニ関シテハ我方ヨリ八月十五日

ノ我修正案第七條通り改ムル様論弁最モ努メタルモ權量ハ元來今回ノ支那側修正案ハ日本側ノ強硬ナル主張ニ顧ミ辛ウジテ交通部内ノ反對ヲ取鎮メ思切テ讓歩シタル次第右訂正ハ絶對ニ不可能ナリト主張シタルモ我委員ノ熱心ナル説得ニ依リ再考ヲ約セリ

次テ我方ヨリ郵便切手問題ニ言及シ支那側ニテ該規定ヲ削除スル以上為念八月十五日我修正案第六條ノ規定ハ支那側ニテ當然承諾実行スルモノナルコトノ言明ヲ何等カノ形式ニテ存案シタキコトヲ述ヘタルニ意外ニモ先方ニテハ支獨郵便約定第四條ノ解釈上郵便切手相互承認ノ件ハ青島ニノミ適用スヘキモノナリト答ヘタルニ付我方ヨリ從來ノ交渉成行ヲ指摘シ且約定ノ条文ニ基キ論弁シタルモ終ニ何等要領ヲ得ルニ至ラズ最後ニ上海青島芝罘海底電線問題ニ移リ往電第三七九号(ハ)ノ趣旨ノ公文案ヲ示シ同意ヲ求メタルニ先方ヨリ本問題ハ如何ナル形式ニテモ文書トナスコトヲ欲セズトテ終ニ同意スルニ至ラズ当日支那側ヨリ左記三通ノ書類ヲ手交セリ

(一) 独支郵便約定

(二) 山東鐵道支那電信行間電信約定中第一條乃至第四條全文

交通部委員第四次提出修正案(六年三月十九日)

現屬日本國管理之膠州灣租借地及膠濟鐵路間所有關於中日兩國郵電事務之處理弁法

一 日本國承認中國在青島繼續開設郵務局電報局各一所
二 中國承認日本國在濟南濰縣之膠濟車站繼續開設郵便局各一所

三 中國允諾在左開各處自行延長中國電報局

電綫与膠濟鐵路電綫連接先在濟南膠濟車站實行接綫

濟南商埠、周村、博山、濰縣、青州、膠州、城陽、青島
四 所有中德會訂山東路電交接弁法合同(附件甲)及中國郵局与山東鐵路公司訂定濟青運送郵件合同(附件乙)以及中德郵政局互訂代寄郵件暫行章程(附件丙)中之關於青島濟南濰縣各節中日兩國均暫適用之

(右和訳文)

交通部委員第四次提出修正案(六年三月十九日)

現ニ日本國ノ管理ニ屬スル膠州灣租借地及山東鐵道沿綫

ニ於ケル日支兩國郵便電信事務處理ニ関スル取極

一、日本國ハ支那國カ青島ニ於テ郵便局及電信局各一個処ヲ引続キ開設スルコトヲ承認ス

(三) 山東鐵道支那郵便局間郵便輸送契約

七〇一 三月二十日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛

山東通信業務ニ関スル第四次修正案原文及訳

文送付ノ件

附屬書 三月十九日ノ第七回會議ニ附議セラレタル交通

部委員第四次修正案

機密第九六号 (三月二十六日接受)

大正六年三月二十日

在支那

特命全權公使男爵 林 權助(印)

外務大臣法學博士子爵 本野一郎殿

山東通信業務ニ関スル件

本件ニ関シ本月十九日付ヲ以テ交通部ヨリ提出セル第四次修正案全文往電三七八号ヲ以テ及報告置候処右原文訳文別紙之通及送付候也

(附屬書)

別紙写

三月十九日ノ第七回ニ附議セラレタル交通部委員第四次修正案

二、支那國ハ日本國カ濟南及濰縣ノ山東鐵道停車場ニ於テ郵便局一個処ヲ引続キ開設スルコトヲ承認ス

三、支那國ハ左記各地ニ於テ支那國電信局ヨリ自ラ電信線ヲ延長シ山東鐵道電信線ト連結セシムルコトヲ承諾ス
但シ先ツ濟南停車場ニ於テ連結ヲ実行スルモノトス

濟南商埠、周村、博山、濰縣、青州、膠州、城陽、青島
四、支獨間ニ訂結セル山東電信連絡弁法契約(附屬書類甲号)及支那國郵便局山東鐵道会社間ニ訂定セル濟南青島間郵便物運送契約(附屬書類乙号)竝支獨郵便局間ニ互訂セル郵便代替暫行章程(附屬書類丙号)中青島濟南濰縣ニ関スル各項ハ当分ノ間日支兩國間ニ之ヲ準用スルモノトス

七〇二 三月二十二日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

中國側第四次修正案第四條及海底電綫等ニ関

シ折合ヲ着ケタルニ付調印シ度旨稟申ノ件

第四〇二号(至急)

往電第三七八七号ニ関シ支那側修正案第四條及海底電綫問題等ニ付引続キ支那側ト交渉ヲ試ミ尚本日出淵及船津ヲシテ

交通総長ヲ往訪ノ上最後ノ嚴談ヲ遂ケシメタル結果先方ニ於テ結局第四条ヲ左ノ通修正スルコトニ同意シタリ

膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル日支兩國ノ郵便電信事務ニ関シテハ当分ノ間從前支那國ト独逸國政府及鐵道会社トノ間ニ取極メタル弁法ヲ適用スルモノトス尚青島ニ於ケル支那國電信局ハ從前ノ慣例ニ依リ弁理スルモノトス但シ上海青島及青島芝罘間ノ海底電線ハ將來山東省ニ関スル日支新條約ニ依リ律スヘキモノナルヲ以テ該電線ニ對シテハ當分ノ間本條ノ規定ヲ適用セザルモノトス

右ノ内青島支那電信局ニ関スル事項ハ新規ノ問題ナルモ先方ヨリ該電信局ノ運用ニ就テハ独支間成文ノ取極ナキノ故ヲ以テ為念挿入アリタシトノ達ツテノ希望ニ付駈引上同意スル事トセリ又前段中「當分ノ間」ナル字句ハ可成避ケン事ヲ努メタルモ先方ニテ飽反反對セルニ付後段ニモ同様ノ字句ヲ入ルル事トシテ折合ヒタリ右修正ニヨリ第四条ヲ概括的ナラシムルト共ニ海底電線ヲ山東條約ニヨリ律スヘキコトヲ約セシメ得タル訳合ナリ郵便切手問題ニ付テモ再應論議セルモ遂ニ目的ヲ達成スルニ至ラズ兎ニ角本日ノ談判ニ依リ著シク有利ナル結果ヲ得タル次第ナルガ右ハ交通部

極ヲ了シタキ意向ニ付右御了知ノ上支那側ト交渉方可然御取計相成度シ

- 一、支那側第四次修正案表題及同一条ニ付テハ異存ナシ
- 二、第二条ニ関シ貴電第三八七号ニ依レバ支那側ニ於テハ「山東鐵道停車場」ヲ「山東鐵道用地」ト改ムルコトニハ同意シ難キモ停車場構内ナレハ如何ナル地点ニ我郵便局ヲ開設スルモ異存ナキ旨言明セル趣ニ付テハ其ノ趣旨ニ依リ第二条中「山東鐵道停車場」トアルヲ「山東鐵道停車場構内」ト改ムルコトニ交渉方取計アリタシ
- 三、第三条ニ付テハ第二条トノ關係上第三条但書中「濟南停車場」トアルヲ「濟南停車場構内」又ハ単ニ「濟南」ト改ムルコトトシタシ

尚第三条ニ左記トシテ列挙シタル各地ニ関シ濟南商埠界、周村界等ノ「界」ナル文字ハ別段ノ意味アルニ非ズシテ單ニ濟南、周村等ノ地名ヲ示スニ過キザル義ト認メラレ又「城陽界ノ以東」トハ城陽以東ノ各地ヲ指シ青島ノ如キハ當然之ニ包含セラルル義ト認メラルモ稍々疑義アルニ付為念此ノ二点明カニシ置キタシ

四、郵便切手ノ効力相互承認ノ問題ニ関シ支那側カ独支郵

員本邦觀光等ノ關係モ幾分支那側ヲシテ讓歩ヲ敢行セシムル動機トナリタル義ト認メラルルニ付此好機ヲ逸セス調印スルコトト致シタシ

七〇三 三月二十三日 本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛(電報)

交通部第四次修正案ニ對シ更ニ交渉方訓令ノ件

第二五六号 至急

本年三月五日附機密第七六号貴信、貴電第三七七号乃至第三七九号、第三八六号、第三八七号及第四〇二号ヲ以テ御稟申ノ件ハ段々ノ御配慮ニ依リ支那側ノ多大ノ讓歩ヲ見ルニ至リ殊ニ軍用通信機關撤廃問題初メ數個ノ重要ナル問題ニ関シ著シク支那側ノ讓歩ヲ見タルハ專ラ貴官並我委員ノ尽力ニ基クトコロト認メラレ満足ニ不堪

右ニ関シ縷々御稟申ノ通支那政局ノ轉變極リナク且支那側委員來邦等ノ關係モ有之此際當方ニ於テモ互讓ノ精神ヲ以テ至急問題ヲ解決シ交渉ヲ纏ムル方得策ナルヘント思料シ其ノ趣旨ヲ以テ御稟申ノ次第逐一關係ノ向ヘ移牒シ取急キ協議ヲ重ネタル結果左記要領ノ通支那側ト交渉シ今次ノ取

便約定第四条ノ解釈上相互承認ノ件ハ青島ニノミ適用スヘキモノト為スハ了解シ能ハザルニ因リ同約定第四条第一項ノ明文ヲ引用シ今一応主張セラレタシ尤モ支那側カ此際絕對ニ青島以外ニ及ボスコトヲ承諾セザルニ於テハ貴電第三八六号御稟申ノ次第モ有之青島以外ニ付テハ後日ノ問題ニ讓ルノ外無カルヘント雖モ支那側ハ濟南及濰県ニ我普通郵便局ノ設置ヲ認メ交換局トシテ之ヲ承認セムトスルモノナルヲ以テ青島ノ外少クトモ濟南及濰県ノ兩地ニ對シテハ相互主義ヲ認メシムル様可成御尽力アリタシ

五、貴電第四〇二号ニ依ル支那側最後ノ修正案第四条ニ関シ同条前段ニ付テハ異存ナシ

同条但書ハ最重要ナル海底線問題ニ関シ支那側ノ讓歩ヲ見誠ニ好結果ヲ得タルモ今次ノ取極以外ニ於テ山東ニ関スル独支間ノ通信關係ハ独リ海底電線ニ止マラズ例ヘバ芝罘北京間直接通信ノ問題ノ如キモ存スルノミナラズ此外尚電話、無線電信等ニ関スル独逸ノ利權存セシヤモ測リ難シ然ルニ今次ノ取極ヲ以テ山東ニ関スル通信業務ノ問題ハ全部解決セルカ如ク看做サルルニ於テハ今次ノ取

極ニ規定セザル事項ハ自然山東条約ノ適用ヲモ受ケザルコトト解釈セラルル虞アルヲ以テ今次ノ取極ハ何等大正四年五月二十五日ノ山東省ニ関スル日支条約ノ効果ヲ阻害スルモノニ非ザルコトヲ明カニシ置クノ必要アリト認ム右ノ次第ナルニ付本第四条但書中「上海青島及青島芝罘間ノ海底電線」ノ下ニ「其ノ他ノ諸問題」ヲ加ヘ尚「該電線」ノ下ニ「等」ノ字ヲ加フルコトニ付是非支那側ノ同意ヲ得ル様配意アリタシ（大正五年十月五日附政機密送第一七二号往信添附通信省來信寫左記(四)参照）若シ本件ニ関シ到底支那側ノ同意ヲ得サルニ於テハ止ムヲ得サルニ付本第四条ハ支那側修正案通トシ別ニ公文ヲ以テ上記ノ趣旨ヲ支那側ヨリ言明セシムル様特ニ配意アリタシ（終）

註 日本外交文書大正五年第三冊四一七文書ノ附屬書

七〇四 三月二十四日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

我对案ニ中国側不承知ノ場合ニハ此儘調印シ

度旨稟請ノ件

第四一六号 至急

ニ支那側委員ヨリ交通部内ニ於ケル反對ノ内情ヲ打明ケ最
早修正ノ余地ナキコトヲ熱心ニ主張シ日本側ニ於テ飽ク迄
修正ヲ固執スルニ於テハ年遺憾延期ノ外ナシト述べ兎ニ角
支那側最終讓歩案ニ就キ日本文及漢文ノ照合ヲナシ自分ノ
責任ヲ明ニナシ置キタシト申出デ(一)表題及第四条ノ（山東
鐵道沿線）ヨリ（沿線）ノ二字ヲ削除シ(二)表題ノ（取極）ヲ
（弁法）ニ改メ(三)第三条ノ（承諾ス但先ツ）ヲ（承諾シ先ツ）
ニ改メ(四)第四条ノ（従前）ヲ（鐵道会社トノ間ニ）ノ次ニ入
レ(五)同条但書ノ日支新条約ニ依リ律スベキモノヲ（日支新
条約ニ依リ一律弁理スヘキモノ）ト改メタキコトヲ主張シ
タルニ付我委員ヨリ(一)(四)(五)ハ何等異存ナク(二)ハ其ノ儘ニナ
シ置キタリ(三)ハ支那側委員ニ於テ嘗テ（沿線）ナル文字ニ
同意ヲ表シタルコトアルニ付今更變更シ得ザル旨ヲ答ヘ彼
是押問答ノ末結局支那側ヲシテ我方ニ於テ支那側主張通
ク修正ヲ加フルニ於テハ先方ニテモ第二条及第三条ノ停車
場ノ下ニ（構内）ナル二字ヲ挿入スルコトニ同意スヘキ旨
ヲ約セシメタル趣ナリ卑見ヲ以テセハ（山東鐵道沿線）ヨ
リ（沿線）ノ二字ヲ削除シ其ノ他ノ字句ヲ尽ク支那側主張
通改ムルモ實質上何等影響ナシト認メラルルニ付往電第四

貴電第二五六号ニ関シ最善ノ努力ニ依リ漸ク今回ノ結果ヲ
収メタルニ拘ハラズ尚御希望ヲ滿タスコトヲ得ザルハ本使
ノ頗ル遺憾トスル所ナリ支那側ヲシテ軍事通信機關及海底
電線ノ如キ重要事項ニ付我主張ヲ容レシムル迄ノ苦心ハ実
ハ容易ナラザルモノアリ且支那側ニ於テモ實際極度迄讓歩
シタルモノナルコトハ本使ノ十分認ムル所ニ有之此上我方
ヨリ御來示ノ如キ修正又ハ公文案ヲ提議スルトキハ支那一
流ノ遣口トシテ必ズ種々ノ注文ヲ持出スヘク結局權量出
前ニ取纏メ得ル見込ナキニ付本日午後一応ハ交渉ヲ試ムヘ
キモ先方不承知ノ場合ニ於テハ其儘調印ノ手續ヲ運フコト
ニ致シタク折返シ（遅クトモ明二十五日午後迄）何分ノ儀
御電訓ヲ請フ（二十四日午後〇、三〇発）

七〇五 三月二十五日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

二十四日交通部ニ於ケル會議ノ模様報告竝ニ

十六日調印方ニ付更ニ請訓ノ件

第四二〇号 至急

往電第四一六号ニ関シ二十四日午後交通部ニ於テ會議ヲ開
キ我委員ヨリ貴電第二五六号御訓令ニ基キ交渉ヲ遂ゲタル

一六号ニ対シ御承認ノ旨電訓ニ接シ次第前記ノ通り修正ノ
上淨書ニ着手シ二十六日午後調印ヲ了スル積リナリ（終）
本電ハ万一ノ延着若ハ誤電ヲ虞リ為念別ニ奉天經由ニテ発
電セリ

七〇六 三月二十五日 本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛（電報）

請訓ノ成文ヲ以テ調印差支ナキ旨回訓ノ件

第二六一号（至急）

往電第二五六号山東通信問題ニ関シ貴電第四一六号第四一
七号及第四二〇号ヲ以テ御稟申ノ次第モ有之ニ付全部貴電
通ノ成文ヲ以テ調印方異存ナシ尤モ山東条約適用ノ問題ニ
関シ後日ノ誤解ヲ避クル為メ右調印ニ際シ「今次ノ取極ハ
大正四年五月二十五日ノ山東省ニ関スル日支条約ノ効果ヲ
毫モ阻害スルモノニ非ズト了解スルヲ以テ此段為念通告
ス」ト云フ意味ヲ我方限り書面ヲ以テ支那ニ申入置タシ万
一右ノ如ク我方限り書面ヲ提出スルコトニテモ本取極ノ調
印ニ障害トナルカ如キ虞アル御見込ナルトキハ固ト々々今
次ノ取極ハ当然山東条約ノ効果ニ何等ノ影響ヲモ及ボサザ
ルモノト解釈シ可然義ナルヲ以テ右御含ノ上前記ノ通書面

一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 七〇七 七〇八 七〇九

六八一

ヲ以テ支那側ニ申入方ヲモ見合セラルルモ異存ナシ
尚往電第二五六号左記第三末段ニ申進タル「城陽ノ以東」
トハ城陽以東ノ各地ヲ指シ青島ノ如キハ当然之ニ包含セラ
ルル義ト認メラルルモ為念確カメ置レタシ

七〇七 三月二十六日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

三月二十六日調印済ノ件

第四三〇号

貴電第二六一号ニ関シ三月二十六日調印済委細後電

七〇八 三月二十六日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

調印ニ至ル迄ノ経緯報告ノ件

第四三四号

(三月二十七日接受)

貴電第二六一号ニ関シ御来示ノ書面送方ニ関シ昨夕早
速出淵ヲシテ権量ヲ説得セシメタルニ先方ニテハ条約ノ効
果ヲ云々スルカ如キ書面ハ交通部トシテハ其職責上接受シ
兼ヌルニ付日本側ニテ強ヒテ必要ト認メラルルニ於テハ外
交部ニ照会セラレタシトテ容易ニ承諾セズ且我方ニ於テ何
故斯カル書面ヲ差出サントスルヤニ付疑念ヲ抱キタル模様

附属書一 右取極正文

二 交換公文案

機密第一〇五号

(四月二日接受)

大正六年三月二十七日

在支那

特命全權公使男爵 林 権助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

山東通信業務ニ関スル件

予テ日支兩國委員間ニ交渉ヲ重ネタル山東通信業務ニ関ス
ル取極本月二十六日調印済ノ次第即日往電第四三〇号ヲ以
テ及報告置候処同取極本書日漢文各一通茲ニ及送付候間御
査収相成度候將又右ハ各本國政府ノ承認ヲ条件トシテ調印
シタル次第故確認ノ手續ヲナス必要有之候ニ付一応交通部
側ト協議ヲ遂ケタル処別紙写ノ如キ公文交換ノ形式ニ依ル
コトト致度キ希望ニ有之候間青島税関ニ関スル取極モ外交
部ヲ經由セザリシ例ニ徴シ右形式ニ同意シ然ルヘクト存候
至急御詮議ノ上何分ノ義御電訓相成度此段及稟請候也

追テ御便宜ヲ慮リ本取極書日漢文写各三通及添送候尚ホ
青島司令官及濟南領事ニハ直接当方ヨリ送付致置候ニ付

一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 七〇九

ナリシモ兎ニ角総長ニ伺フヘシト答ヘタルガ本日調印ノ際
先方ヨリ総長ノ命ナリトテ総長個人トシテハ今回ノ取極ハ
毫末モ山東条約ノ効果ヲ阻碍スルモノニアラズト確信シ居
リ責任ヲ以テ之ヲ言明スルコトヲ躊躇セザルモ事何分外交
上ノ問題ニ属スル關係上書面ヲ接受スルコト丈ケハ乍遺憾
承諾シ兼ヌル旨ヲ述べ且支那側ニテ難ヲ忍ンデ多大ノ讓歩
ヲ為シ漸ク調印ノ運トナリタル今日斯カル問題ハ何トカ撤
回ヲ願ヒタシト懇請シ到底押付ケ得ル見込ナカリシニ付折
角用意シ行キタル書面モ遂ニ提出ノ途ナク万已ムヲ得ズ直
ニ調印ヲ決行シタル趣ナリ右ハ本使ニ於テモ事情余儀ナキ
次第ト認ムルニ付宜敷御諒察ヲ請フ將又貴電末段城陽以東
云々ハ往電第四一七号ニテ御承知相成ヘキ通城陽青島ト明
記シアルニ付左様御承知アリタシ尚取極本書ハ支那側ト打
合ノ結果確認方法ニ関スル意見ヲ具シ二十八日中郵送ス到
達次第電信ニテ回訓ヲ請フ(奉天經由三月二十七日午前二、三〇)

七〇九 三月二十七日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛

山東通信業務ニ関スル取極本書及右承認ノ交
換公文案送付並右ニ関シ訓ノ件

為念申添候也

(欄外註記)

「本信ヲ通信省ニ送り其意見回示方申送りタリ同時ニ電話ヲ
以テ渡部書記官ニ対シ先例ニヨレハ本取極ハ樞密院ニ御諮詢又
ハ報告セズトモ可ナルヘク又全部公表ノ要モ無カルヘキモ必要
ノ部分ハ当該官憲ニ於テ告示等為スノ要アルヘク一応考量アリ
タキ旨依頼シタル所同書記官ヨリ日支郵便約定、電信約定、日
露電信聯絡取極等何レモ樞密院ニ御諮詢乃至報告ナカリシニヨ
リ今回ノ取極モ之ヲ為サザルモ差支ナカルヘシ又必要ノ告示ヲ
為スノ要ハ之アルヘク全部公表ハ日支郵便約定ノ先例ニヨリ之
ヲ為サザルヘキモ何レ通信大臣ヨリ新聞社ニ本件經過ヲ話サル
ル様ノコトトナルヘシトノコトナリシニ付新聞紙ニ書クコトハ
書キ方如何ニヨリテハ支那側ノ体面上ヨリ云フモ將又支那議會
ノ反対等ヲ予防スル趣旨ヨリ見ルモ面白カラザル旨答ヘ置キタ
リ(広田印)」

(附属書一)

山東通信業務ニ関スル取極正文

現ニ日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地及山東鐵道ニ
於ケル日支兩國郵便電信事務処理ニ関スル弁法

第一条 日本國ハ支那國カ青島ニ於テ郵便局及電信局各一
箇処ヲ引続キ開設スルコトヲ承認ス

第二条 支那國ハ日本國カ濟南及濰縣ノ山東鐵道停車場構

六八三

内ニ於テ郵便局一箇処ヲ引続キ開設スルコトヲ承認ス

第三条 支那国ハ左記各地ニ於テ支那国電信局ヨリ自ラ電信線ヲ延長シ山東鉄道電信線ト聯結セシムルコトヲ承諾シ先ツ濟南停車場構内ニ於テ聯結ヲ実行スルモノトス

濟南商埠、周村、博山、濰県、

青州、膠州、城陽、青島

第四条 膠州湾租借地及山東鉄道ニ於ケル日支兩國ノ郵便電信事務ニ関シテハ当分ノ間支那国ト独逸国政府及鉄道会社トノ間ニ従前取極メタル弁法ヲ適用スルモノトス尚青島ニ於ケル支那国電信局ハ従来ノ慣例ニ依リ弁理スルモノトス

但上海青島間及青島芝罘間ノ海底電線ハ将来山東省ニ関スル日支新条約ニ依リ一律弁理スキモノナルヲ以テ該電線ニ対シテハ当分ノ間本条ノ規定ヲ適用セザルモノトス右証拠トシテ各本国政府ノ承認ヲ条件トシ署名調印ス

大正六年三月二十六日 北京ニ於テ之ヲ作ル

公使館一等書記官、出淵 勝次(印)

交通部参事 権 量(印)

(右漢文)

公使館一等書記官 出淵 勝次(印)

(附屬書二)

往翰案

取極承認ニ関スル交換公文案

拝啓陳者本年三月二十六日兩國委員間ニ署名調印セル現ニ日本国ノ管理ニ属スル膠州湾租借地及山東鉄道ニ於ケル日支兩國郵便電信事務処理ニ関スル弁法ハ今回帝國政府ノ承認ヲ經候ニ付貴国政府ニ於テ承認次第直ニ実行致度何分ノ儀御回答相煩度此段申進候 敬具

大正六年 月 日

林 権 助

中華民國交通總長 許世英殿

(右漢文)

逕啓者現属日本国管理之膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有関于中日兩國郵便及電信事務之處理弁法業於本年三月二十六日由兩國委員署名調印竝經本國政府承認為此函請

貴總長査照一俟

貴国政府承認即速実行竝希

見覆此致

現属日本国管理之膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有關於中日兩國郵電事務之處理弁法

第一条 日本国承認中国在青島繼續開設郵務局電報局各一所

第二条 中国承認日本国在濟南濰県之膠濟東站区域内繼續開設郵便局各一所

第三条 中国允諾在左開各処自行延長中国電報局電綫与膠濟鉄路電綫連接先在濟南膠濟車站区域内実行接綫

濟南商埠、周村、博山、濰県、

青州、膠州、城陽、青島

第四条 所有膠州湾租借地及膠濟鐵路間關於中日兩國郵電事務均暫適用中国与德国政府鉄路公司従前已有之弁法並依在青島之中国電報局原有慣例弁理

但由上海至青島及由青島至烟台之水綫一事将来自応査照関于山東省中日新条約一律弁理因此对于前項水綫暫不適用于本条之規定

為証明前開各条各以本國政府之承認為条件署名蓋章於下

中華民國六年三月二十六日訂於北京

交通部参事 権 量(印)

中華民國交通總長許

大正六年 月 日

復 翰 案

逕復者本日接准

来函以現属

日本国管理之膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有關於中日兩國郵便及電信事務之處理弁法業於本年三月二十六日由兩國委員署名調印竝經

貴国政府承認為此一俟本國政府承認願即速実行為便等語均已閱悉除令郵電局照弁外相応函覆即希

査照此致

日本国特命全權公使男爵林

民国六年 月 日

許 世 英

(右和訳文)

拝復陳者本日附貴翰ヲ以テ今回貴国政府ハ本年三月二十六日兩國委員間ニ署名調印セル現ニ日本国ノ管理ニ属スル膠州湾租借地及山東鉄道ニ於ケル日支兩國郵便電信事務處理ニ関スル弁法ヲ承認セラレタル趣ヲ以テ右実行方ニ付御申越ノ趣敬承候仍テ御来示ノ通実行方郵便局及電信局へ及訓

令置候間右様御承知相成度此段回答申進候

中華民國六年 月 日

許 世 英

日本国特命全權公使男爵 林 權助殿

七二〇 四月二十七日 本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛(電報)

山東通信問題ノ交換公文案ニ関シ我方往翰補

足方訓令ノ件

第三四一号

機密第一〇五号ヲ以テ御稟申ニ係ル山東通信問題ニ関スル取極確認ニ対スル交換公文案ノ形式ニ付テハ異存ナキモ取極実施ニ関シテハ猶地方的ニ細項ノ打合ヲ要スルモノアル趣通信及陸軍兩省側ノ意見モアルニ付我方ヨリ提出スヘキ公文ハ「貴国政府ニ於テ承認次第直ニ実行致度」ノ下ニ「尤モ実行ニ関スル細目ニ付テハ地方的ニ兩國通信官憲ノ間ニ打合ヲ為スコトニ致度何分ノ儀云々」ト補足シ支那側ノ分ハ原案ノ儘トシテ交換ヲ了スルコト致シタシ右可然御取計アリタシ

七二一 五月一日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交換公文ノ我方往翰補足字句ニ関シ請訓ノ件

第五五六号 (五月二日接受)

貴電第三四一号ノ件船津ヲシテ權量ニ交渉セシメタル処同人ハ五月一日許総長ノ命ナリトテ我方ノ挿入セントスル「尤モ実行ニ関スル」ハ当然ノ手続ニテ現ニ支那側回答文中ニモ「除令郵電局照弁外」ノ文字アル以上此上補足スヘキ必要ナシト認ムル旨書面ヲ以テ回答シ来レリ右ノ如ク書面ニテ言明シタル上ハ交換文中ニ我方希望ノ文句ヲ挿入シタルト同様ノ効力アル次第ナレバ強テ御来示ノ通取計フノ必要モナカルベク許総長モ既ニ辞表ヲ提出シ早晚聞届ケラルベキ形勢ナル旁々本件ハ一日モ早ク之ニ結了セシムル方可然ト考ヘラルルニ付御詮議ノ上至急何分ノ御電訓アリタシ

七二二 五月三日 本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛(電報)

交換公文ノ我方往翰補足字句ニ関シ回訓ノ件

第三五八号

貴電第五五六号御稟申ノ件支那側公文案中ノ「除令郵電局照弁外」ハ三月二十七日附機密第一〇五号貴信添付ノ訳文中「仍テ御来示ノ通り実行方郵便局及電信局ヘ及訓令置候」ニ該當シ我方ヨリノ公文申入ニ基キ必要ノ訓令ヲ郵便局及電信局ニ与フルト云フニ過キサルモノト認メラレ之ヲ以テ実行ニ関シ地方的ニ細項ノ打合セヲ為スト云フ意味ハ現ハレサルヤニ思料セラルルモ今次權量ヨリ差出シタル書面ニ於テ細項ノ打合ヲ為スハ当然ナル旨言明シアリトセハ之ニ依リ地方的ニ細項ノ打合ヲ為スコトハ無論留保セラレタルモノト了解シ得ルニ付御稟申ノ通取計ハレ異存無シ尤モ今次ノ取極ノ実行ニ関シテハ細項多々有之ニ付此点ハ充分支那側ニ説明シ置カレ度

七二三 五月九日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交換公文ノ先方復翰案字句訂正申出ニ関シ追

認方竝細目交渉委員等ニ関シ通報方稟請ノ件

第五九二号 (五月十日接受)

貴電第三五八号ニ関シ五月四日付ヲ以テ当方公文ヲ送附シタル所支那側回答案中承認ノ下「為此」及「願」実行ノ下

一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 七二三 七二四

在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

第五五六号 (五月二日接受)

貴電第三四一号ノ件船津ヲシテ權量ニ交渉セシメタル処同人ハ五月一日許総長ノ命ナリトテ我方ノ挿入セントスル「尤モ実行ニ関スル」ハ当然ノ手続ニテ現ニ支那側回答文中ニモ「除令郵電局照弁外」ノ文字アル以上此上補足スヘキ必要ナシト認ムル旨書面ヲ以テ回答シ来レリ右ノ如ク書面ニテ言明シタル上ハ交換文中ニ我方希望ノ文句ヲ挿入シタルト同様ノ効力アル次第ナレバ強テ御来示ノ通取計フノ必要モナカルベク許総長モ既ニ辞表ヲ提出シ早晚聞届ケラルベキ形勢ナル旁々本件ハ一日モ早ク之ニ結了セシムル方可然ト考ヘラルルニ付御詮議ノ上至急何分ノ御電訓アリタシ

七二二 五月三日 本野外務大臣ヨリ
在中國林公使宛(電報)

交換公文ノ我方往翰補足字句ニ関シ回訓ノ件

第三五八号

「為便」ノ五字ハ不必要ナルニ付削除シタキ旨申出アリ右ハ公文ノ實質上何等相違ナキヲ以テ我訳文ハ少シモ變更スル必要ナキノミナラス漢文トシテハ却ツテ体裁ヨキ様認メラルルニ依リ承認ヲ与ヘ置ケリ就テハ右御追認ノ上可然御訂正アリタシ將又通信業務実行上ノ細項ニ関シ地方的ニ兩國通信官憲ノ間ニ打合ヲ為スタメ支那側ニテハ濟南郵便局及青島電報局ヨリ各一人ノ委員ヲ任命スル積リナル処訓令ノ都合モアルニ付日本側委員及其商議地点至急通知アリタキ旨五月八日權量ヨリ申出アリタリ至急何分ノ御返電ヲ請フ

七二四 五月十六日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛

山東通信業務ニ関スル取極承認ニ関スル交換

公文写送付ノ件

機密第一八六号 (五月二十一日接受)

大正六年五月十六日

在支那

特命全權公使男爵 林 權助(印)
外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

山東通信業務取極確認ニ関スル公文ハ兼テ打合ノ通り本月四日ヲ以テ交換ヲ了シ候間為念右交換公文写別紙之通り訳文共及送付候也

(別紙)

写

交換公文

往翰

第一〇号

拝啓陳者本年三月二十六日両国委員間ニ署名調印セル現ニ日本国ノ管理ニ属スル膠州湾租借地及山東鐵道ニ於ケル日支兩國郵便電信事務処理ニ関スル弁法ハ今回帝國政府ノ承認ヲ經候ニ付貴國政府ニ於テ承認次第直ニ実行致度何分ノ儀御回答相煩度此段申進候 敬具

大正六年五月四日

林 權助

中華民國交通總長代理 權 量殿

(右漢訳文)

逕啓者現屬日本国管理之膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有關于中日兩國郵便及電信事務之処理弁法業於本年三月二十六日由兩國委員署名調印竝經本國政府承認為此函請

貴代理總長查照一俟

貴國政府承認即速実行竝希

見覆此致

中華民國交通總長代理 權

大正六年五月四日

林 權助

復翰

逕復者本日接准

來函以現屬

日本国管理之膠州湾租借地及膠濟鐵路間所有關于中日兩國郵便及電信事務之処理弁法業於本年三月二十六日由兩國委員署名調印竝經貴國政府承認一俟本國政府承認即速実行等語均已閱悉除令郵電局照弁外相応函覆即希查照此致

日本国特命全權公使男爵 林

民國六年五月四日

暫代交通次長暫行代理部務權量

(右和訳文)

拝復陳者本日附貴翰ヲ以テ今回貴國政府ハ本年三月二十六

山東通信取極及交換公文ノ中国政府公報発表

ノ件

第六三一号

支那政府ハ予メ何等打合ヲ為スコトナク五月十七日政府公報ヲ以テ山東通信ニ関スル取極及ビ交換公文ヲ発表セルニ付一応其不都合ヲ詰責シ置キタルガ右ハ最近外間ニテ山東ニ関シ權量ガ日本ト密約ヲ結ビタリトノ風説アリシタメ之ヲ打消ス必要上急遽発表シタルモノナラント發セラル

(奉天録由五月十八日午後二時三〇分発)

七二七 五月三十一日 本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

交換公文ノ先方復翰案字句訂正追認竝細目交
涉委員等ニ関シ回訓ノ件

第四一二号

貴電第五九二二号ニ関シ交換公文支那側回答字句修正ノ義追認ス地方的商議ノ件ニ関シテハ予テ通信省ニ移牒シ置キタル処本日同省ヨリ陸軍省ト協議ノ結果委員トシテ青島守備軍側ヨリ同軍通信部長厚東工兵大佐通信省側ヨリ通信屬娉野八郎ヲ任命シ商議地点ヲ青島ト定メ又商議開始ノ期日ハ

日兩國委員間ニ署名調印セル現ニ日本国ノ管理ニ属スル膠州湾租借地及山東鐵道ニ於ケル日支兩國郵便電信事務處理ニ関スル弁法ヲ承認セラレタル趣ヲ以テ右実行方ニ付御申越ノ趣致敬承候仍テ御來示ノ通り実行方郵便局及電信局ヘ及訓令置候間右様御承知相成度此段回答申進候 敬具

中華民國六年五月四日

暫代交通次長暫行代理部務 權 量

日本国特命全權公使男爵 林 權助殿

七二五 五月十八日 本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

山東通信取極中国政府公報ヲ以テ発表セラレ
タリトノ報道ニ付問合ノ件

第三九〇号

貴地發新聞電報ニ拠レハ山東通信問題ニ関スル日支取極五月十七日ノ政府公報ヲ以テ発表セラレタリトノコトナル処果シテ然ルヤ為念承知致度發表ノ内容ト共ニ何分ノ義折返電報アリタシ

七二六 五月十八日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 七二五 七二六 七二七

一〇 山東省ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 七一八 七一九 七二〇

六九〇

不日決定ノ上通知ニ及フヘキ旨申越アリタリ就テハ右期日通知ニ接シ次第重テ電報致スヘキモ以上ノ次第支那側ヘ御通知置アリタシ尚陸軍側ニ於テハ支那側委員タル濟南郵便局長（陸軍下士出身ノ仏国人）及青島電報局長（支那電信学校出身ノ支那人）ハ青島守備軍管内ニ於ケル対敵通信制限其他中央部ノ施設ニ関係ヲ有スル事項等重要事項ニ付商議ヲ要スル場合ニハ其資格不十分ナルヤノ嫌ナキニシモアラザルニ付商議ノ進行ニ伴ヒ右委員相手ニテハ議定難致事項ニ遭遇スルコトアル場合ニハ支那側ヲシテ別ニ適任者ヲ加フルノ必要ヲ生スルヤモ難計ニ付其旨予メ含ミ置カレタキ旨通信省ヲ通シ当方ヘ申越シアリタリ右貴官限り御含ミ置アリタシ

七一八 六月二十八日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

山東通信業務細目交渉委員任命済ニ付会議ノ
日取決定方中国交通部ヨリ依頼越ノ件

第八三三号

（六月二十九日接受）

貴電第四一二号ニ関シ支那側ニテハ一日モ早ク実行方法協定致シ度キ希望ヲ以テ既ニ電信ニ関シテハ山東電報巡綫総

第一三六六号

往電第一三一二号ニ関シ重ネテ交通総長ヨリ督促シ来レル
ニ付大約ノ日取折返シ電報願度シ

七二一 十月十八日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛（電報）

細目協定交渉ノ予定日取回報ノ件

第七六九号

貴電第一三六六号ニ関シ本件ハ山東ニ於ケル制度改正トノ
關係上遷延シ居リタル処今般右改正実施ト共ニ本件ハ青島
守備軍民政部ニ於テ措置スルコトト相成リタル由ニテ未タ
公式ノ通知ニハ接セザルモ陸軍省ヨリ聞ク所ニテハ委員ト
シテ新任通信部長古賀伝吉及同部付嬉野八郎ヲ任命シ別ニ
従来ノ關係上前通信部長厚東大佐（制度改正ノ結果現ニ青
島守備軍陸軍部付ナリ）ヲモ会議ニ列席セシメタキ由ニテ
目下右任命方手続中又会議日取ハ凡ソ十一月十五日ノ予定
ナル由ナリ就テハ陸軍省ヨリ正式通知接到ノ上重ネテ電報
スヘキモ不取敢右申進ス

管葉昌岐及ヒ青島電報局長陸承金ヲ任命シ郵便ニ関シテハ
在濟南山東郵務長 Filippini（仏国人）ヲ任命シタルニ付
青島通信部長ヘ照会アリタキ旨交通総長代理ヨリ公文ヲ以
テ依頼シ来レリ就テハ會議ノ日取り至急決定相成様其筋ヘ
御交渉ノ上結果電報ヲ請フ（奉天經由六月二十八日附八、五〇）

七一九 九月十五日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

交通総長ヨリ山東省通信聯絡ノ実行着手ノ為
細目協定方申越ノ件

第一三一二号

（九月十六日接受）

九月十五日交通総長ヨリ山東省ニ於ケル通信聯絡ノ実行ニ
着手スル為速ニ細目ノ協定ヲ開始シタキ旨申出デタリ本件
ニ就テハ曩ニ六月二十八日往電第八三三三号ヲ以テ申進シタ
ル次第モアリ此上延引スルハ甚ダ面白カラサル訳合故至急
其筋ト御協議ノ上會議日取電報アリタシ（奉天經由十五日前〇、二
〇）

七二〇 九月二十九日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

細目協定開始ノ日取交通総長ヨリ問合越ノ件

七二二 十一月二日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛（電報）

山東通信業務細目交渉會議開催ノ日取通知方
ノ件

第八一〇号

往電第七六九号ニ関シ

厚東、古賀及嬉野ノ三名ヲ委員ニ任命シ十一月十五日頃ヨ
リ會議開催致スヘキ旨陸軍省ヨリ正式ニ通知アリタルニ付
其旨支那側ヘ通知アリタシ